



春里中学校

学校だより 令和5年度 10月号

TEL 048-683-3458

FAX 048-683-8979

学校教育目標

自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

読書のきっかけは ゆる～く

校長 小倉 弘一

幼いころ、読書は嫌いでした。先生や親から読書を勧められると、善行（人が行うべき善い行い）^{ぜんこう}を強いられているように感じて、拒否反応があったのかもしれません。今は、小説を読むのが好きです。忙しくてしばらく読めずにいると、身体が活字を欲します。

大人になって気づいたのですが、読書は善行ではなく、私に言わせれば娯楽です。「好きだから、楽しいから読書する」で良いのだと思います。

小説を読むことは、勉強（頭が良くなるためにすべきこと）よりも、むしろテレビドラマやアニメを見ることに近いと感じています。私はテレビも大好きです。テレビは情報を一方的に脳内に送り付けてくるので、見るともなしにダラッと楽に眺めています。逆に、読書は自ら情報を取り込むことができます。「自ら」というところに自由があります。テレビドラマなどは一話の切りどころが発信者によって決められてしまいますが、読書は自分で決めることができます。また、自分が決めたペースで読み進めることができます。時には二度読みしたり、あえてゆっくりじっくり読んでみたり。



秋の夜長にコーヒーなどをお供にしながら、ゆっくりゆったり読書するひときは、なんとも贅沢でたまりません。友人や家族と好きな本について語り合っていると、人によってとらえ方が違うことがわかり、それもまた面白いものです。

今まで読書に対して食わず嫌いだった人は、まずは短編小説から入ってみてはいかがでしょうか。「勉強のため」や「やるべきだから」ではなく、気楽に「楽しいから」始めてみませんか？ きっとハマりますよ。この秋は、きっかけを作って読書にハマっちゃってください。

※後期の図書委員会が、10月の秋の読書週間を目途に本校教職員のお勧め図書について、本校図書館に展示と掲示します。参考にしてみてください。

本校の学校ホームページの「今週の1枚」のコーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。



